



ベイタウンに春が来た

晴天がつづき、日差しが強くなった3月中旬、カメラ片手に二丁目公園に行ってきました。まだお花見には早いだろーと思っ

ていましたが、すでに多くの木は八分咲き

ほどの花をつけ、その下ではあちこちで

シートが広げられていました。

この公園は街中にあるので、遊具も多く

あり子どもたちもたくさん来ます。卒業式

が終わり、春休みも近いので子どもたちは完全に解放されていて、見ているだけで気持ち

が和みます。

二丁目公園のサクラは数種類が植えられていて、それぞれ開花の時期が違います。

写真のように満開の花をつけている木もあ

れば、まだ蕾をつけているだけの木もあります。これは開花の時期がずれていることで花見の期間が長くなることを意識した配置でしょうか。

一方、二丁目公園からメッセ大通りを挟んだエコパークにはナノハナが見事に花をつけ、サクラの白と対照的に辺り一面を黄色で埋め尽くしていました。



(続) プロムナード回顧録

先月号で取りあげた「プロムナードの回顧録」の記事。その後多くの方から連絡や情報の提供がありました。いただいた情報をもとに改訂版を出したいところですが、今後もまだ変更される可能性があり、今回は暫定版として先月号でお知らせした内容の訂正を書いておきます。

最も多くの方から情報があつたのは1番街にあった「ビレバン」ことビレッジヴァンガード^(注)。最初の店名は「みしま」と伝えましたが、正確には「Book PLAZA Misima」です。これは1番街にお住まいの方から下に掲載した写真の提供があり、それにより判明しました。この写真、よく見ると1番街の12星座モニュメントの雄牛の像がありません。実はこの像は街開きの直後に一時盗難にあい、なくなったことがありました。像はその後返却されましたが、写真はその像がなくなっていた時期のもので、その意味でも貴重な写真です。当時はデジカメやスマホが一般的でない時代。印画紙に映し出されていた写真をわざわざスキャナで読み取って送ってくれました。感謝です。

もうひとつ大きな謎だったのは6番街の「工事関係者のお店」としていたスペース。このお店は4番街にお住まい

の方から「確かにありました。お店の名前は『山本商会』です。当時はまだ第2期、3期の工事が行われていて、内装工事に使う材料や道具が売られていました。引っ越して来てDIYをするのに思いがけずいい店があつたので助かりました」とのお知らせがありました。なるほど、半分実用を兼ねたお店だったのですね。工事が終わると同時になくなったのも納得できます。

その他にも3番街にあったレンタル店は「かずさレンタル企画、レントオール千葉店」というお店だったそうです。こちらはそのお店でアルバイトをしていましたという方からのお知らせです。3番街にはそのお隣にもうひとつ不明のお店がありました。「弁当店」とだけ書きましたが、実際にあつたかどうか分かりませんでした。このお店も実在し、「オレンジエプロン」

という店名だったそうです。

今のところこれだけ判明しましたが、まだ不確かな点が2つ残っています。一つ目は2番街にあったパン屋さんの「サンエトワール」。このお店はその後駅前のプレナに移り、2番街にあったお店は山崎製パンの研修所になったという話ですが、研修所も最初からあつたという情報があり定かではありません。そしてもう一つ残る謎は4番街にあったサーフショップとクルマ関係のお店です。この2つのお店はあつたことは確かですが、場所も店名もはっきりしません。もしご存じの方がいらっしゃったらお知らせください。mazmbtn@gmail.com 松村です。

注：「ビレッジ」は正確には「ヴィレッジ」(village)と表記すべきですが、ここでは通称の「ビレッジ」としました。

コア花壇で花を育てる会 会員募集

「コア花壇で花を育てる会」は公民館の花壇をボランティアで管理する会です。年に2回千葉市から配布される花の苗を中心に色々な花を育てています。

活動は随時で、花植えや草取り、肥料遣りなどの作業をしています。一緒に楽しく花を育てませんか。

今回は5月17日(月)に花植え作業をします。

当日午後1:30にコア花壇付近においていただくか、打瀬公民館(Tel: 043-296-5100)までご連絡ください。



東日本大震災を振り返る

2021年3月11日は東日本大震災後10年の節目でした。本紙では、その時何があって、どう感じて、何を教訓としていこうと考えたのかを再確認するため、被災直後にペイタウンニュースに掲載された生々しく最も説得力のある体験談から抜粋してお届けします。【小原】



震災時の千葉市の震度は5強。被災直後の花見川沿いの道路では液状化が発生し、地下水が噴き出して通行も困難な状況だった。対照的に、ペイタウン内の建物や道路には段差が発生していたが液状化がなく比較的被害が少なかった。

パークタワー30階で被災したFさんは、「立ってられない。食卓につかまる以外何も出来なかった。リビングや台所にある引き出しという引き出しが開いたり閉じたりを繰り返し、ものすごい音を立てている。他の部屋からも何かが倒れる音や扉がいきおいよく閉まる音が響いた。何かすごい事がおきている」と書いていました。

その勢いのすごさ。まずは自分がどうしたらいいかわからない感覚。棚や引き出しから物が飛び出しました。数日後の不燃物回収の日、割れた食器・グラス類が山のようにならまれている記憶が蘇ります。

ファーストウイングで被災したSさんは、「どうしよう…。まずは学校に子ども

たちを迎えに行く？それとも自分が高いところに避難？主人の会社も海沿いにあります。どこに行けば、何をすればいいのかわかりませんでした。（中略）今回の地震は昼間だったため、家族が別々の場所にいたことで大変な思いをされた方が多いと思います。特に母親にとっては、子どもたちが学校や幼稚園に行っている時間だったので、子どもに怪我はないか実際に

に会えるまで心配でなりませんでした」。

また、Sさんはテレビでは太平洋沿岸の津波警報のことはわかるのに、東京湾の情報にはなかなか入ってこなかったことも指摘していました。折り悪しく、防災行政無線が改修のため停止中。実際90cmの津波が東京湾でも観測されています。運良く押し寄せては来ませんでしたが次はどうかかわりません。

年度変わりで生活圏の変化が多いこの時期、安否確認の方法を話し合っておくタイミングです。

サウスコート在住のIさんは東京永田町で被災しました。夕刻5時半に永田町の職場を出発し、新橋から永代橋へ、それから道

した小雨だったら、屋根のあるところがあるのがコアのいいところです。

この会は、社会福祉協議会の小柴さんが、千葉市あんしんケアセンター磯辺の生活支援コーディネーターの富田さんと話していたときにもちあがったもの。ケアマネジャーさんのサポートがあります。ラジオ体操は日本人のほとんどが知っている素晴らしい文化（ちょっとオーバーかな）。密を避けながら無理のない運動ができ、太陽の光を浴び、人との交流のきっかけになります。是非ご参加下さい。



ラジオ体操やってます

毎週火曜日朝10:00、コアの中庭でラジオ体操が行われています。誰でも参加OK。在宅勤務で運動不足を感じている方々や、コロナ禍で外出の機会が減り他人との交流が少なくなった、と感じている高齢の皆さんにも、身体的にも精神的にもいい刺激になります。

2月からスタートしたこの会、当初は試験的だったので宣伝はコアにお知らせを1枚貼っただけでした。あとは口コミで一ヶ月後には30人以上の人が集まったのですから、確実に必要とされていた催しです。

10時にラジオ体操の歌から始まり、準備運動、第一、第二の体操が終わって10:15ぐらい。振りがあやふやでも、リーダーがいますので大丈夫。終わると皆さんスッキリとした表情で三々五々帰って行きます。そのあとの一日が有効に使えそうです。

雨の場合は中止だそうです、ちょっと



海浜幕張駅前の、Tully's Coffee 前の道路の状況。大きな段差が発生している。

路標識を頼りに徒歩で千葉に向かったそうです。

「休憩をとろうにもほとんどの店舗はすでに閉まっており、開いている店には大行列。たまたまお菓子を持っていたのでそれを食べながら歩くことにする。コンビニには食べるものはほとんどなく、トイレも行列。しかし沿道の閉まっている店でも『トイレ使ってください』のビラをはってあってありがたかった。（中略）

またとぼとぼ歩いていくと、煌々とあかりをつけている一軒の店、『ドンキホーテ』。なんと自転車があった！！さすがのドンキでは、店員を増やして対応していた。30分ほど並んで自転車を購入。ほかにカイロや手袋などの防寒用品も買って出発する。

Iさんが帰宅したのは夜中の11時半。お疲れ様でした。あの夜は本当に寒かったですね。

当時は3番街に住んでいた本紙記者の金は、虎ノ門のオフィスで被災し、しばらく帰宅を見合わせるという選択をしました。

「（地震がおさまって）しばらくすると、建物の外に避難した人が集まり始め、地下鉄が止まってしまっていた為バス停に長い行列ができ、早くも午後4時ごろから歩道を歩く人の数があふれる程になっていた」。

最終的に車での移動もあきらめ、会社のソファで仮眠後、朝の5時に再度出発した金は、このように締めくくっています。

「今回の震災で分かった事は、改めて普段からの備えがいかに大事であるか再認識したこと、車はガソリンの確保を含めまったく役にたたないことが確認できたことです。災害に弱い京葉線は今後の災害時も当然動く事は期待できないので、会社のロッカーの運動靴を軽登山靴に取り替えて用意し直した。そして折り畳み自転車の用意を真剣に考えています」。

地震だけでなく津波の被害を受けた太平洋沿岸部のことを思うと、震災後まもなく日常を取り戻せた私たちからは、かける言葉も見つかりません。それでもこの出来事は他人事ではなく、天災はいつどのような形で私たちを襲うかわからない、という基本的な心構えを持ち続け、情報収集を怠ることなく備えを常に更新していきたいと思っています。



つどいまなびつなぐ

ベイタウン・コア / 公民館通信

電話：043-296-5100

● 4月の主催講座～4月2日（金）9時受付開始
初めてのトルペイントペンダントとマスク作りー

日時：4月21日（水）

10：00～12：00

場所：打瀬公民館工芸室

費用：500円（材料費）

講師：（財）日本手芸普及協会ペイント

部門元理事 北村直子先生

対象：成人（先着12名）



「公民館でやさしい市」開催のお知らせ（申込不要）

日時：4月9日（金）

11：00～12：00

売り切れ次第終了

場所：打瀬公民館アトリウム

協力：千葉市園芸協会



第37回 ベイタウン音楽会サマーコンサート 出演者募集

2021年6月27日（日）10時開演予定

場所：ベイタウンコア音楽ホール

ピアノや弦楽器などの楽器演奏者を募集します。コロナ感染予防対策として、現状ではホールの定員を40名とし、各部入れ替え方式やドア開放のままの演奏予定となります。ご応募をお待ちしています。

締切：4月28日（定員になり次第締め切らせていただきます）

申込先：suhara-u@kmj.biglobe.ne.jp（須原祐子）

キュービックカフェ4月・5月のイベント・ワークショップ



毎月9日はキュービックの日！『キュービックマルシェ』

<4月> 4/9（金）

<5月> 5/8（土）

いずれもコミュニティスペース絆にて。学校用布製品も並びます！

イベント最新情報はキュービックカフェホームページをご確認ください。



イベント詳細・お問い合わせ：キュービックカフェ

<https://www.cubic-cafe.com/>

4月のベイタウンかふえ ～お待たせしました！～

4月14日（水）13：30～16：00 かふえ開店します。

ウイルス感染予防対策を徹底的におこない、再スタートいたします。生のジャズピアノ演奏を聴きながら午後のひと時をゆったり過ごしましょう。

4月29日（木）13：30～ 「認知症になっても、この街で暮らしたい！イベント第2弾」として、ベイタウン・コアで映画「ぼけますから、よろしく願いします。」の上映と信友直子監督のお話を聞くイベントを開催します。詳細は各番掲掲示の案内チラシ、当会のホームページをご覧ください。

問い合わせや、連絡等がありましたら、

うたせ認知症を考える会 中澤（TEL：043-211-0588）までどうぞ。



● 5月の主催講座～5月2日（日）9時受付開始

親子で飾り巻き寿司づくりに挑戦「アンパンマンをつくろう」

日時：5月9日（日）10：00～12：00

場所：打瀬公民館調理室

費用：700円

講師：打瀬公民館職員（有資格者）

対象：小学1年～4年生と

保護者 先着4組



小学生折り紙教室「くるくる回転カライドサイクルを折ろう」

日時：5月29日（土）10：00～12：00

場所：打瀬公民館講習室

費用：300円

講師：打瀬公民館職員（有資格者）

対象：小学1年～6年生

先着12名



◇申込方法

打瀬公民館窓口または電話 043-296-5100

※感染状況により中止の場合があることをご承知ください。

4月のコア・イベント

わくわくおはなし会

わくわくおはなし会4月のおはなし会は完全入れ替え制の2回公演

日時：4月18日 日曜日（いつもと曜日が違います）

時間 1回目：10時から 2回目：11時から

プログラムは各回同じ内容、1回45分程度の完全入れ替え制

場所：ベイタウン・コア講習室

定員：各回16名（感染防止の観点から十分な距離を取らせて頂きます。マスク着用でご参加ください）

ご好評につき2回公演としました。感染症対策として、予約・定員制となりますので、ご参加希望の方は下記メールアドレスにて、代表者のお名前・ご参加人数（お子様の場合は年齢も）・ご希望の時間を明記の上、お申込みください。年齢制限はありません。

皆さまに安心安全にご参加いただけるよう、細心の準備をして開催させていただきます。

※最新情報はブログでご確認ください

ブログ更新中・見てね <http://blog.livedoor.jp/chibawaku/>

◆ お申込み・お問合せ先 ◆ waku2book@gmail.com

寺子屋工作ランド

なぞの「ベンハムのコマ」

日時：4月24日 土曜日 午前9：30～11：30

場所：ベイタウン・コア工芸室

黒と白だけでかいた模様のコマなのに、回すと紫や緑の色がでるなぞのコマです。

持ってくるもの：えんぴつ、はさみ、木工ボンド、黒のサインペン
参加費：50円（保険料）

第199回ファツィオリの会

日時：4月25日（日）午前9：30～

場所：ベイタウン・コア音楽ホール

フルコンサートピアノ「ファツィオリ」の演奏やその他の楽器演奏をして頂けます。ただし、今回は新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、歌唱、金管楽器演奏は行えません。また入場人数の制限、演奏中も換気のためホールドアを開放など新しい形での開催となります。担当者の指示に従って、ご参加頂きますようお願い申し上げます。非公開でのご利用も受付けております。

状況により中止の場合もあります。

最新の情報は <http://www.baytown.ne.jp/core/> をご覧ください。

申込締切：4月18日（日）

申込先：tgunjimamy@yahoo.co.jp（郡嶋）